

会 報

平成14年度第5回日本公衆衛生学会 理事会議事録

I 日 時 平成14年10月23日(火)11:00~12:40

II 場 所 大宮ソニックスンテイ701

III 出席者 理事長 多田羅浩三
 学会長 北川定謙
 副会長 井上晶子
 理 事 相澤好治 阿彦忠之
 入山文郎 遠藤 明
 大井田隆 金川克子
 小林廉毅 小林秀資
 近藤健文 佐藤 洋
 實成文彦 嶋本 喬
 新庄文明 中川秀昭
 中原俊隆 藤田利治
 三角順一 村嶋幸代
 (21名)

監 事 平山朝子 (1名)

委任状提出者

理 事 岡田尚久 柿崎トミ子
 角野文彦 伊達ちぐさ
 中谷比呂樹 松田 朗
 三角順一 森田倫史
 山崎寛一郎 (8名)

監 事 古市圭治 (1名)

以上 理事現在数29名 出席理事21名

委任状提出理事 8名

オブザーバー 多田 學 (島根医科大学副学
長)

大畑 元 (埼玉県医師会常任
理事)

坂井義彦 (埼玉県健康福祉部
健康福祉政策課研修
企画担当主幹)

田原紀子 (京都市東山保健所
長)

田中美彰 (京都市保健福祉局
保健衛生推進室健康
増進課)

山根成二 (島根県健康福祉部
次長)

川本直樹 (島根県健康福祉部
長寿社会課主任)

学会規定第13条第1項による定数に達していることを確認の後、多田羅浩三理事長が議長となり開会を宣した。議事に先立ち多田羅理事長から挨拶があった。

議事録署名人選出

議事録署名人に、大井田隆 佐藤 洋両理事が指名された承された。

議 事

第1号議案 第61回(平成14年度)日本公衆衛生学会総会について

北川定謙学会長から今回の総会参加への歓迎とお礼の挨拶があった。会場は参加者の移動を考え、1か所に集中したので大変良かったと思っている。また、今回はプログラムにも力を入れており、ミニシンポジウムは204題を予定している。明日から開催される総会運営について各理事に協力をお願いしたい旨の依頼があった。

副会長の井上晶子埼玉県健康福祉部長から、歓迎の挨拶と彩の国埼玉と埼玉県の現状について説明があった。

埼玉県医師会の大畑 元常任理事から、本総会が日本医師会の生涯教育と産業医の認定に協力していることについて感謝の挨拶があった。

以上により、本議案は了承された。

第2号議案 第62回(平成15年度)日本公衆衛生学会総会について

中原俊隆次期学会長からスライドを基に、メインテーマ、ロゴマーク、役員、会場、総会プログラムの概要、準備状況について説明があった。

以上により、本議案は了承された。

第3号議案 第63回(平成16年度)日本公衆衛生学会総会について

多田羅理事長から、第63回日本公衆衛生学会総会は、島根県松江市で開催し、学会長については島根医科大学副学長の多田 學先生にお願いしたい旨前回の理事会において了承されたが、本日午後開催の評議員会、明日開催の総会に諮る旨の提案があり、了承された。

多田島根医科大学副学長から島根県の紹介と交通面について、このような大きな学会総会を引き受けることの重大性について説明があり、山根成

二島根県健康福祉部次長からは島根県、松江市の紹介と県をあげて協力したい旨説明があった。

第4号議案 監事の推薦について

多田羅理事長から現監事の任期が本総会終了日までのため、新監事として、能勢隆之先生、宮武光吉先生を推薦したい旨提案があり、この理事会において承認され次第、本日午後開催の評議員会に諮りたいとの説明があり、了承された。

第5号議案 委員会について

1. 多田羅理事長から9月の理事会で委員会と中心となる理事については了承をいただいたが、委員会委員について原案をまとめたので、了解いただきたい。今期は理事を中心に委員会を構成し、学会としての意見を提言していきたいとの説明があった。

公衆衛生研修委員会

近藤健文 佐藤 洋 大井田隆 岡田尚久
阿彦忠之 實成文彦 藤田利治 村嶋幸代
地域保健委員会

阿彦忠之 嶋本 隆 實成文彦 三角順一
中谷比呂樹 岡田尚久

感染症対策委員会

角野文彦 阿彦忠之 新庄文明 中谷比呂樹
藤田利治

公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会

金川克子 村嶋幸代 大井田隆 伊達ちぐさ
実成文彦 角野文彦

規定改正委員会

松田 朗 近藤健文 遠藤 明 大井田隆
中原俊隆 相澤好治

IT化検討委員会

中川秀昭 小林廉毅 近藤健文 佐藤 洋
藤田利治 三浦宜彦

検討の結果、各委員会について了承されたので、本日午後開催の評議員会に報告することとした。

2. 編集委員会について

小林廉毅理事から、編集委員長の任期が今年12月末となっており、現委員長の岡崎 勲東海大学医学部教授に留任をお願いしている。また、現編集委員の任期も今年の12月までであり、約半数の編集委員が交代することとなる。新編集委員候補者については、編集委員長、副委員長と担当理事で、地域と専門分野を考慮し選出した。査読委員

については、今年度3月末までの任期となっており、約半数の委員が交代する予定である旨説明があった。

検討の結果、原案どおり了承されたので、新編集委員候補の承諾をとり、1月からの新体制を整えることとした。

第6号議案

近藤理事から資料に基づき、評議員会の議事進行と総会議事の確認が行われ、原案どおり了承された。

報告事項

1 委員会報告

1) 編集委員会報告

小林理事から評議員会に報告する13年度の編集状況について報告があった。

2) 公衆衛生人材委員会報告

近藤理事から公衆衛生人材委員会の中間まとめについて報告があった。また、医師の卒後臨床研修必修化の準備状況と第1回「地域保健・医療」臨床研修に関する連絡協議会について説明があった。

3) 地域保健委員会報告

阿彦忠之理事から、報告書については3月にまとめており、その抜粋を機関誌5号に掲載している旨報告があった。

4) 感染症対策委員会

近藤理事から感染症対策委員会の報告書として「感染症法施行2年間における同法の運用状況等に関する全国保健所長調査報告」が出された旨報告があった。

5) 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会

金川克子理事から公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会の中間報告書ができあがった旨報告があった。

6) 学会総会60回記念事業委員会

北川委員長から9月11日の第5回座談会、10月9日の第6回座談会について報告があった。

2 その他

1) 多田羅理事長から今総会のブースの展示内容について報告があった。

2) 近藤理事から日本健康科学学会シンポジウムの後援依頼について承諾した旨報告があった。

3) 相澤理事から第19期日本学術会議会員選出

の登録研連について、第1位予防医学研連、第2位に環境保健学研連に登録した旨報告があった。

以上をもって、理事長が閉会を宣した。

次回理事会は平成15年1月21日(火)1時半から法曹会館で行う。

平成14年度日本公衆衛生学会評議員会議事録

I 日 時 平成14年10月22日(火)13:00~14:10

II 場 所 大宮ソニックスティール

III 出席者119人 委任状提出者124人 合計243人
(現在員数283人)

オブザーバー 京都大学医学部公衆衛生学
里村一成
京都市保健局保健衛生推進室
健康増進課 田中美彰
島根県福祉部次長 山根成二

事務局から学会規定第15条2項による出席評議員が定足数に達した旨の報告の後、北川定謙学会長が議長となり開会を宣言した。議事に先立ち北川学会長から歓迎の挨拶と、多田羅浩三理事長から挨拶があった。

議事録署名人には、新庄文明理事と米増國雄評議員が指名された。

報告事項

1. 平成13年度会務報告

近藤健文庶務担当理事から資料に基づき、学会庶務に関する事項、学会総会、奨励事業、学会機関誌発行等の事業全般について報告があった。

2. 委員会報告

1) 編集委員会報告

小林廉毅編集担当理事から次のとおり報告があった。

編集委員会は毎月1回開催し、機関誌も順調に発行している。平成13年度の投稿原稿数は161編であり、投稿数は昨年と同様である。その処理状況は、前年度以前の投稿分をふくめて採用91編、不採用26編、審査継続中105編となっている。投稿から掲載までの期間の平均は、13年度は9.9か月になり12年度より若干長くなっているが、投稿から1回目の返事までは2.7か月となっており、

できるだけ3か月以内に返事ができるように努力している。また、投稿原稿の多様化と投稿原稿の増加により、査読委員を20名増員した。

2) 公衆衛生人材委員会

近藤理事から次のとおり報告があった。

平成13年度は委員会を3回開催し、中間報告書を作成し、要旨を学会機関誌49巻2号に掲載した。また、それ以降の活動については、配布資料の中にある中間まとめに報告している。

また、医師の卒後臨床研修については、公衆衛生人材委員会の中にワーキンググループを作り、平成14年5月から4回にわたり活動し、また、これらの活動を基に「地域保健・医療」臨床研修に関する連絡協議会を立ち上げ、第1回協議会を10月19日に行ったという報告と、臨床研修必修化の準備状況について説明があった。

3) 地域保健委員会

阿彦忠之委員長から次のとおり報告があった。

平成13年度は委員会を4回開催し、全国の地域保健医療体制の現状分析、健康日本21の推進に係る保健所活動の現状について、地域の精神保健問題等について検討をかさね、また、喫煙対策に関する意見声明を発表した。14年3月に報告書を出しており、抜粋を機関誌49巻5号に掲載している。

4) 感染症対策委員会

角野文彦理事から次のとおり報告があった。

平成13年度は委員会を4回開催し、感染症施行後2年間における同法の運用状況に関するアンケート調査を全国の保健所長に対して行い、資料の中にある報告書にまとめた。

5) 公衆衛生の看護に関する検討委員会

金川克子委員長から次のとおり報告があった。

平成13年度は委員会を5回開催し、全国の看護大学、短大、養成機関における学生、教官の公衆衛生に対する意識、カリキュラム、教官の質についてアンケート調査を行い、報告書にまとめた。

6) 会誌検討委員会

近藤委員長から次のとおり報告があった。

13年度は会員名簿を発行した。また、学会機関誌の電子化、学会のホームページについても検討した。

7) 学会総会60回記念事業委員会

北川委員長から平成13年度は学会功労者への感謝状の贈呈、第60回記念事業パネルディスカッション

ソへの開催、3回の座談会を開催した旨報告があった。

石川県成人病予防センターの西 正美評議員から、医師の卒後臨床研修について、保健所や集団検診など公衆衛生の研修も重視すべきとの意見が出された。

近藤理事から公衆衛生の研修の強化のために、厚生労働省医政局長あてに要望書等を提出して、学会としても活動している旨説明があった。

3. 第11回役員選挙報告

北川選挙管理委員長から次のとおり報告があった。

第11回役員選挙は平成13年度と14年度にわたって行われた。選挙管理委員会は学会規定に基づき構成され、選挙日程は告示のとおり執り行われた。新評議員・理事長・理事は評議員会資料の名簿のとおりである。

4. その他

1) 中富健康科学振興財団の顕彰について

近藤理事より中富健康科学振興財団から平成13年度健康科学の発展に功績のあった研究者として青木國雄氏が顕彰された旨報告があった。

2) 奨励事業について

北川学会長から平成14年度の奨励事業について次のとおり報告があった。

奨励賞候補者は評議員の推薦が必要であり、奨励事業は学会としても力を入れている。平成13年度は、7人の理事により構成されている奨励賞選考委員会において、6人の候補者について厳正に審査した結果、岡村智教氏、斉藤 功氏、中村正和氏、原口章子氏の4人を選考した。明日開催の学会総会において奨励賞を贈呈し、業績の発表を行っていただく予定である。

議 事

第1号議案 平成13年度収入支出決算(案)について

遠藤 明会計担当理事から、資料に基づき平成13年度収入支出決算(案)について次のとおり説明があった。

1. 収入は会員増と前年度の未納者の会費の納入により、予算額より10,112,000円増えており、雑収入も雑誌データ利用許諾料金等が増えたため

予算額より638,208円増収となった。

2. 事業費について、会員数の増加により会員名簿作成費は1,044,681円支出が増加し、委員会活動のため調査活動費、学会総会60回記念事業費も予算額よりそれぞれ1,875,631円、756,604円支出増となった。

3. 収支差額13,343,928円は、平成14年度に繰り越すこととする。

平山朝子監事から平成13年度収入支出決算に係る監査報告がなされた後、本件について審議した結果、原案どおり承認されたので、その内容を機関誌に掲載することとされた。

第2号議案 平成14年度収入支出補正予算(案)および平成15年度収入支出予算(案)ならびに平成15年度事業計画(案)について

遠藤理事から、資料に基づき平成14年度収入支出補正予算(案)および平成15年度収入支出予算(案)について次のとおり説明があった。

平成14年度収入支出補正予算については

- 平成13年度収支決算(案)において収支差額13,343,928円を平成14年度へ繰り越すことにした。
- 収入として、編集用のコンピューター購入のため備品購入積立預金を1,000,000円取り崩すこととし、雑収入も前年度決算にあわせ500,000円増やすこととした。
- 支出として、旅費交通費、支払い手数料を前年度実績に合わせ増額し、編集費の謝金を500,000円増額し査読委員への謝金を増やすこととした。また、新たに学会機関誌の50巻記念事業費として500,000円、備品購入費として1,000,000円計上し、調査活動費は前年度実績にならい2,000,000円、会員名簿積立預金支出として500,000円増額することとした。さらに、IT化積立預金支出として7,000,000円積み立てることとし、2,000,000円を次期に繰り越すこととした。

平成15年度収入支出予算については

- 会員数を7,700人で会費収入を見込んだ
- 14年度の補正予算と同様の予算であるが、学会総会60回記念事業、選挙関係費、備品購入費の支出がなくなる。14年度からの繰越を2,000,000円として、予備費を2,400,000円と

することとした。

近藤理事から資料に基づき、平成15年度の事業計画（案）として諸会議、第62回学会総会、奨励事業、会誌の発行等について説明があった。

多田羅理事長から本日の理事会において承認された委員会と委員について説明があった。

以上の説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

第3号議案 監事の選任について

多田羅理事長から監事の任期が本総会で終了になるため、先程の理事会で新監事として鳥取大学教授の能勢隆之先生と鶴見大学客員教授の宮武光吉先生が推薦された。

審議の結果、原案どおり承認された。

第4号議案 名誉会員の推薦について

北川学会会長から、理事会で承認された次の4人を名誉会員に推薦したい旨の提案があり承認され、明日開催の総会に諮ることになった。

大谷藤郎氏、島尾忠男氏、鈴木継美氏、

平山宗宏氏

第5号議案 第63回（平成16年度）日本公衆衛生学会総会について

多田羅理事長から、平成16年度の第63回学会総会は島根医科大学副学長の多田 學先生に学会長をお願いし、島根県松江市において開催したい旨提案があり、承認され、明日開催の総会に諮ることとなった。

なお、副学会長については学会長ならびに理事会に一任された。

以上で議事を終り、中原次期学会会長、および次々期学会会長（予定）多田島根医科大学副学長から挨拶があった後、議長が閉会を宣した。

平成14年度日本公衆衛生学会総会議事録

I 日 時 平成14年10月23日(水)10:35~11:00

II 場 所 大宮ソニックシティ

学会規定第19条により北川定謙学会会長が議長となり開会を宣した。

総会議事に先立ち多田羅浩三理事長から、北川

学会長をはじめ埼玉県、さいたま市関係者に対する謝辞を含めた挨拶があったのち、議事に入った。

III 議 事

会務報告

近藤健文庶務担当理事から、平成13年度の学会会員、名誉会員、役員会等の庶務に関する事項、会誌の発行状況、平成13年度の収支決算について一括報告がなされ、収支決算については会誌に掲載する旨の報告があった。

平山朝子監事から監査報告があった。

引き続き、近藤理事から昨日の評議員会で承認された平成15年度事業計画、平成14年度収入支出補正予算、平成15年度収入支出予算について報告があった。

第1号議案 名誉会員の推薦について

多田羅理事長から、学会規定に基づく名誉会員の推薦内規により選考された次の4名の方々について、名誉会員に推薦したい旨提案があり、略歴が紹介され、満場一致で承認された。

大谷 藤郎氏 国際医療福祉大学総長

島尾 忠男氏 エイズ予防財団理事長

鈴木 継美氏 東京大学名誉教授

平山 宗宏氏 東京大学名誉教授

第2号議案 第62回（平成15年）日本公衆衛生学会総会について

多田羅理事長から、来年の学会総会は平成15年10月22日から3日間、中原俊隆京都大学医学部教授に学会長をお願いして開催することとなっており、一任されていた副会長には、油谷佳朗京都府医師会長、野田 広京都市保健政策監に就任いただいた旨報告があった。また平成16年の第63回学会総会については、昨日の評議員会において承認された結果をもとに、学会会長は多田 學島根医科大学副学長をお願いし、島根県松江市において開催したい旨提案がなされ、満場一致で承認された。なお、副学会長については学会長ならびに理事会に一任された。

以上で総会の審議を終了し、中原次期学会会長と多田次々期学会会長から挨拶があった後、議長が閉会を宣した。

平成13年度収入支出決算

1. 収支計算書

平成13年4月1日～14年3月31日

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
(収入の部)				
1 会員会費収入	56,800,000	66,912,000	△ 10,112,000	8千円×8,364人 (13年度7,682人・61,456,000) (12年度 682人・5,456,000)
2 会誌掲載料収入	5,500,000	4,875,130	624,870	
3 会誌投稿料収入	650,000	760,000	△ 110,000	
4 会誌広告料収入	1,800,000	1,858,000	△ 58,000	
5 助成金収入	200,000	200,000	0	日本医学会
6 雑誌販売収入	1,200,000	1,471,600	△ 271,600	
7 特定預金取崩収入	3,500,000	3,001,440	498,560	
1) 選挙費用積立預金取崩収入	500,000	0	500,000	
2) 会員名簿積立預金取崩収入	3,000,000	3,001,440	△ 1,440	
8 雑収入	300,000	938,208	△ 638,208	雑誌データ利用許諾料金等
当期収入合計(A)	69,950,000	80,016,378	△ 10,066,378	
前年度からの繰越金	8,034,414	8,034,414	0	
収入合計(B)	77,984,414	88,050,792	△ 10,066,378	
(支出の部)				
管理費	26,730,000	25,323,934	1,406,066	
1 会議費	600,000	461,502	138,498	
1) 理事会費	400,000	220,700	179,300	会場費、資料作成費等
2) 評議員会費	100,000	195,502	△ 95,502	資料作成費等
3) 会議費	100,000	45,300	54,700	
2 旅費交通費	2,200,000	1,389,440	810,560	役員、職員旅費
1) 理事会出席旅費	1,600,000	1,051,100	548,900	
2) その他旅費交通費	600,000	338,340	261,660	
3 通信運搬費	1,300,000	1,110,585	189,415	事務用郵便料、電話料
4 消耗品費	350,000	417,260	△ 67,260	事務用消耗品費
5 印刷製本費	600,000	499,425	100,575	
6 貸借料	100,000	95,550	4,450	総会時コンピューター
7 支払手数料	500,000	539,040	△ 39,040	会費払込料金(加入者負担)等
8 諸謝金	800,000	536,613	263,387	
9 事務委託費	19,880,000	19,880,000	0	日本公衆衛生協会
10 雑費	400,000	394,519	5,481	
事業費	44,420,000	45,885,016	△ 1,465,016	
1 奨励事業費	400,000	434,642	△ 34,642	表彰、選考費等
2 会誌発行費	38,020,000	37,574,743	445,257	
1) 編集費	4,520,000	4,283,139	236,861	編集委員会費用、査読依頼費等
(1) 会議費	300,000	267,531	32,469	
(2) 旅費交通費	1,300,000	1,057,260	242,740	
(3) 通信運搬費	900,000	884,230	15,770	
(4) 消耗品費	10,000	85,007	△ 75,007	
(5) 印刷製本費	710,000	813,390	△ 103,390	
(6) 諸謝金	1,300,000	1,175,721	124,279	
2) 会誌作成発送費	28,500,000	27,246,923	1,253,077	
(1) 印刷製本費	20,000,000	18,477,505	1,522,495	製本費、版下作成費等
(2) 通信運搬費	8,000,000	8,342,215	△ 342,215	
(3) 雑費	500,000	427,203	72,797	
3) 会員名簿作成費	5,000,000	6,044,681	△ 1,044,681	
3 調査活動費	3,000,000	4,875,631	△ 1,875,631	委員会活動費
4 総会負担金	3,000,000	3,000,000	0	総会負担金
学会総会60回記念事業費	2,000,000	2,756,604	△ 756,604	座談会、ブース等
選挙関係費	500,000	719,272	△ 219,272	
特定積立預金支出	30,000	22,038	7,962	
1) 利息繰入金	30,000	22,038	7,962	
予備費	4,304,414	0	4,304,414	
当期支出合計(C)	77,984,414	74,706,864	3,277,550	
当期収支差額(A)-(C)	△ 8,034,414	5,309,514	△ 13,343,928	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	13,343,928	△ 13,343,928	

2. 貸借対照表

平成14年3月31日現在
(単位：円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	23,465	
普通預金	7,518,610	
振替貯金	3,096,678	
未収入金	982,420	
仮払金	411,710	
前払金	3,000,000	
流動資産合計		15,032,883
2 固定資産		
電算機等備品	1,439,734	
総会運営基金	3,530,072	
選挙費用積立預金	5,452,967	
備品購入等積立預金	7,842,900	
財政調整積立預金	44,107,759	
固定資産合計		62,373,432
資産合計		77,406,315
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	909,830	
前受金	784,000	
流動負債合計		1,693,830
負債合計		1,693,830
III 正味財産の部		
正味財産		75,712,485
(内 当期正味財産増加分)		5,309,514
負債及び正味財産合計		77,406,315

3. 積立預金収支の部

平成14年3月31日現在
(単位：円)

1) 総会運営基金			
収入の部		支出の部	
前年度繰越金	3,525,841	次年度繰越金	3,530,072
受取利息	4,231		
計	3,530,072	計	3,530,072

2) 選挙費用積立預金 (単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	5,451,953	残高証明書手数料	210
受取利息	1,224	次年度繰越金	5,452,967
計	5,453,177	計	5,453,177

3) 備品購入等積立預金 (単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	7,840,385	次年度繰越金	7,842,900
受取利息	2,515		
計	7,842,900	計	7,842,900

4) 財政調整積立預金 (単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	44,094,306	次年度繰越金	44,107,759
受取利息	13,453		
計	44,107,759	計	44,107,759

平成13年度監査報告書

平成13年度日本公衆衛生学会事業報告書(案)及び収入支出決算書(案)に基づいて会計帳簿、証憑書類、預金通帳、関係書類等をもとに監査した結果、業務ならびに会計処理が適切に運営・管理され、資産が貸借対照表どおり管理されていることを確認したので報告します。

平成14年7月29日

監事
古市圭治
監事
平山朝子